

一般社団法人日本経済調査協議会シンポジウム

「官民の危機対応の新しい姿」

～BCP（事業継続）から地域サステナビリティ（CCP）へ～



# 新宿駅周辺防災対策協議会

（新宿区・工学院大学・新宿の民間企業の  
連携した危機管理への取り組み）

---

2015年9月4日

損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社

取締役 高橋 孝一

# 1. 1 基礎情報(新宿駅周辺の取組み)

## 取組み経緯

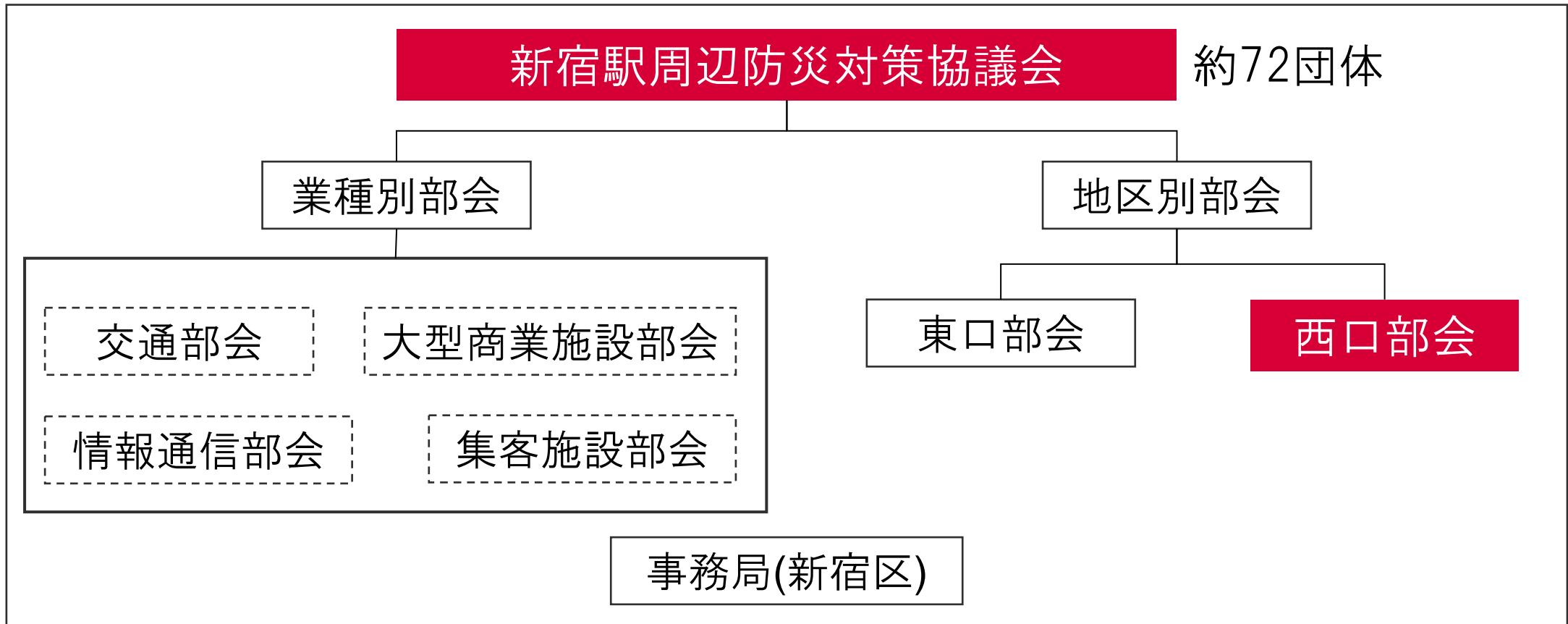
- 平成14年 2月 「新宿帰宅困難者対策推進協議会」を設立
- 平成19年 6月 災害時における駅周辺の混乱防止対策訓練を検討し実施するために、「新宿駅周辺滞留者対策訓練協議会」と名称を変更し、大規模訓練実施に向けて効率的、効果的な検討ができるよう、①集客施設専門部会、②事業所等専門部会、③鉄道専門部会、④情報受発信専門部会の4つの専門部会を設置
- 平成20年 1月 東京都のモデル事業として、新宿駅で「新宿駅周辺滞留者対策訓練」を実施
- 平成20年10月 新宿駅で「新宿駅周辺滞留者対策訓練」を実施
- 平成21年 3月 新宿駅周辺の混乱防止を目的に、自助・共助・公助を基本とした「新宿ルール」を発表
- 平成21年 4月 滞留者問題だけでなく防災まちづくりへと活動の枠を広げるために、名称を「新宿駅周辺防災対策協議会」に変更
- 平成21年以降 毎年「新宿駅周辺滞留者対策訓練」を実施

## 1.2 基礎情報(新宿駅周辺の取組み)

### ■現在の組織図

新宿駅周辺防災対策協議会の組織構成については、下図のとおりとなっている。

当協議会の特徴としては、地域における課題の解決と検証のための訓練の検討のために地区別部会(訓練実行委員会)が設置されていることが挙げられる。なお、東口と西口では地域特性が大きく異なるため、それぞれ部会が設置されている。



# 1.3 基礎情報(新宿駅周辺の取組み)

## 対象地域

- JR新宿駅駅舎を中心とする半径約1～2kmの区域内とする。
- 東側は明治通りまで(ただし、新宿御苑、ウェルシティ東京を含む)とする。
- 西側は十二社通りまで(ただし、角筈特別出張所を含む)とする。
- 南側はJR代々木駅手前まで(ただし、東京体育館を含む)とする。
- 北川は職安通りまでとする。

### 【対象となる区内の町名】

新宿2丁目の一部、新宿3～4丁目、新宿5丁目の一部、歌舞伎町1～2丁目、西新宿1～2丁目、西新宿3～4丁目の一部、西新宿6～7丁目



## 特徴

### ■新宿駅東口地域

- 日本一の歓楽街である歌舞伎町や新宿3・4丁目を中心として、百貨店、映画館、ウェルシティ東京、新宿文化センターなどの大規模な集客施設があり、多数の買い物客で賑わいをみせている。
- 二つの地下街が新宿駅に接続している。(ルミネエスト、サブナード)
- 駅周辺には大型ビジョンが複数設置され、様々な情報を提供している。
- 駅東南方面には、避難所に指定されている新宿御苑がある。
- 駅周辺には、商業ビルが密集しており、発災時の避難には危険を伴う恐れがある。
- 昼間及び夜間に発災した場合には、会社・学校等の組織に属さない滞留者・帰宅困難者が多数発生すると予想される。

### ■新宿駅西口地域

- 駅前には百貨店、大型家電販売店、飲食店が混在している。
- 約30棟からなる超高層ビル群に代表される一大オフィス街をかかえており、朝夕のラッシュ時には非常に多くの人々が、駅とビル郡エリアをつなぐ地下通路を利用している。
- 駅前から続く地下通路を利用することにより、超高層ビル群を循環できる。
- 西口一帯が地区内残留地区に指定されており、延焼火災の危険性は低く、オープンスペースも多く比較的安全な地区である。
- 超高層ビル群を含む新宿中央公園一帯が避難場所に指定されている。
- 駅前の百貨店や大型量販点を除けば、会社・学校が中心に構成されている地区である。このため、組織に属する滞留者・帰宅困難者が多数発生すると予想される。

# 1.4 新宿駅西口地域の高層ビル一覧

新宿駅西口地域<sup>(注)</sup>の主な高層ビルの一覧を下記に示す。

番号	名称	備考	番号	名称	備考
1	小田急第一生命ビル		18	京王プラザホテル	
2	新宿NSビル		19	ハイアットリージェンシー東京	
3	新宿モリス		20	新宿グリーンタワービル	
4	新宿エルタワー		21	東京都庁	
5	新宿センタービル		22	KDDIビル	
6	新宿住友ビル		23	ヒルトン東京	
7	新宿オークタワー		24	新宿ワシントンホテル	
8	新宿セントラルパークビル		25	新宿ファーストウエスト	
9	新宿野村ビル		26	新宿スクエアタワー	
10	新宿パークタワー		27	日土地西新宿ビル	
11	新宿国際ビルディング		28	東京モード学園コクーンタワー	
12	新宿アイランド		29	JR東日本本社ビル	南口
13	東京オペラシティ		30	新宿マインズタワー	南口
14	損害保険ジャパン日本興亜ビル		31	ドコモ代々木ビル	南口
15	工学院大学		32	小田急サザンタワー	南口
16	新宿三井ビルディング		33	NTT新宿本社ビル	初台
17	エステック情報ビル				



# 1.5 損保ジャパングループの参画

2009年12月工学院大学で開催された「新都心の地域減災セミナーシンポジウム(主催:工学院大学、後援:内閣府政策統括官、総務省消防庁、東京都、新宿区等)」において、佐藤損保ジャパン代表取締役社長(当時、現損保ジャパン会長)が講演したことを契機に、損保ジャパングループとして、新宿西口地域の取組みに関わるようになった。

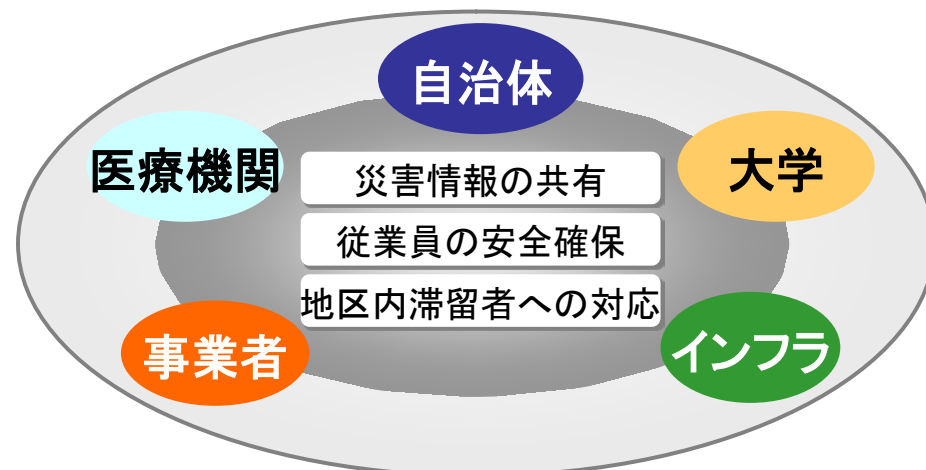


当時の講演状況

新宿新都心プロジェクトへの期待をトップマネジメントとして表明

個々のBCPから、地域のDCP\*へ！

\* DCP: District Continuity Plan (地域継続計画)



損保ジャパンは当事者の自覚をもって新宿地区のDCPに関わっていく所存です

当時の講演資料の1コマ

## 2. 1 東日本大震災時の新宿駅西口の状況

### お互いさまで助け合い・支え合う実績作りの第一歩

新宿駅周辺防災対策協議会メンバーと新宿区・東京都施設で合計約2.0万人以上を支援(毛布・乾パン・水・トイレ提供)



新宿駅周辺滞留者



工学院大学アトリウム受け入れ状況(工学院大学提供)

## 2.2 東日本大震災時の新宿駅西口の状況

東日本大震災 新宿駅西口地域報告会開催(2011年4月20日)



- 訓練通りにはいかなかった  
(西口現地対策部立ち上がらず)
- 携帯・固定電話も繋がらず(連絡網機能せず)
- ライフラインは維持。テレビからの情報入手が可能だった。  
⇒ビルの機能維持。停電したら万事休止
- 多数負傷者なし(建物・構造物被害軽微)  
⇒多数の負傷者が出た場合の体制は白紙



写真提供：新宿区



### 3. 新宿駅西口の取組み

---

新宿駅周辺防災対策協議会西口部会による現在の主な取組みは下記のとおり。

#### (1) 地域の災害対応

- ① 災害時の地域内の情報共有
- ② 災害時の地域内の応急救護
- ③ 災害時の地域内の建物安全確認

#### (2) 地域の人材育成

- ① 地域の災害対応リーダーの育成
- ② 防災に関する基礎的な知識の普及・啓発

#### (3) 地域のインフラ整備

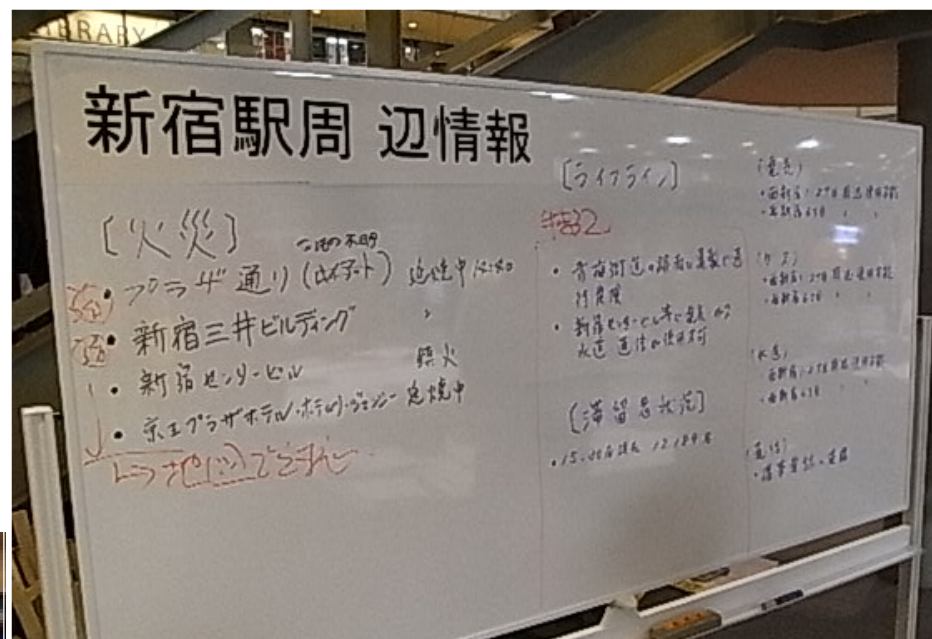
- ① 広域連絡体制の構築
- ② 地域内の無線LAN網の構築

## 4. 1 地域内の災害対応

### ①災害時の地域内の情報共有

災害時に西口現地本部を中心として下記の情報を地域内で共有する。

- 1) 地域の被害情報
- 2) 地域の応急救護情報
- 3) 地域の建物安全情報
- 4) 地域内各団体の災対活動支援情報



## 4. 2 地域内の災害対応

---

### ②災害時の地域内の応急救護

災害時に地域に設置した応急救護所を中心として下記の活動を行う。

- 1) 一次トリアージ
- 2) 応急手当
- 3) 傷病観察
- 4) 重傷者を優先的に搬送 等



工学院大学「平成24年度新宿駅西口地域地震防災訓練報告書」(2013)より

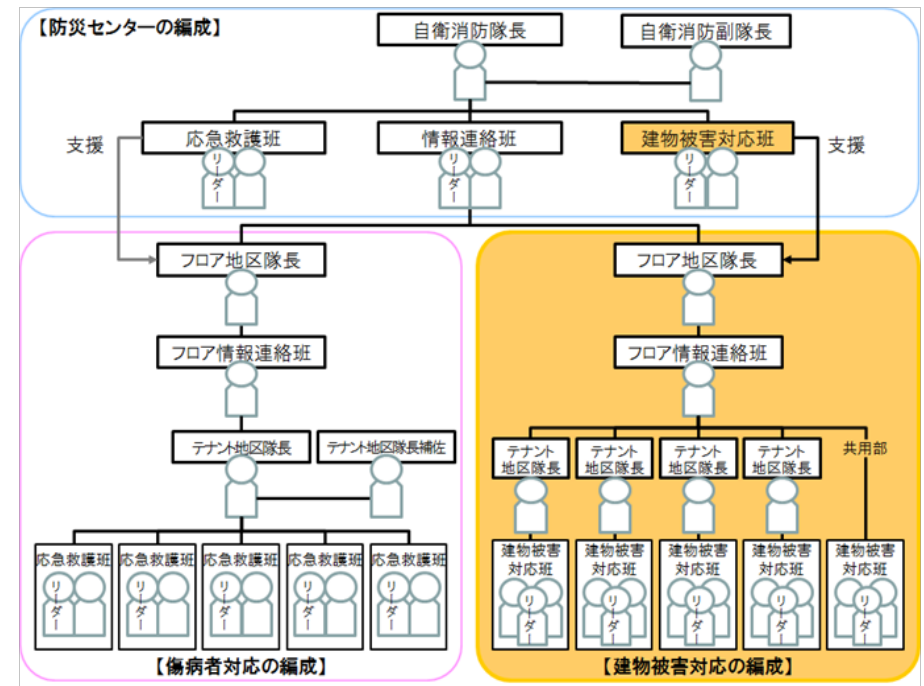
# 4.3 地域内の災害対応

## ③災害時の地域内の建物安全確認

災害時に地域が連携して設置して下記の活動を行う。

- 1) 事業所による確認
- 2) 確認結果の集約
- 3) 確認結果に基づく専門家の派遣
- 4) 専門家による確認 等

建物地震被害チェックリスト(事業所用) 記入例(1/1)		記入者	確認日
1	点検結果が何より	2012/1/17 14:18	
2	点検結果が何より		
3	点検結果が何より		
4	点検結果が何より		
5	点検結果が何より		
6	点検結果が何より		
7	点検結果が何より		
8	点検結果が何より		
9	点検結果が何より		
10	点検結果が何より		
11	点検結果が何より		
12	点検結果が何より		
13	点検結果が何より		
14	点検結果が何より		
15	点検結果が何より		
16	点検結果が何より		
17	点検結果が何より		
18	点検結果が何より		
19	点検結果が何より		
20	点検結果が何より		
21	点検結果が何より		
22	点検結果が何より		
23	点検結果が何より		
24	点検結果が何より		
25	点検結果が何より		
26	点検結果が何より		
27	点検結果が何より		
28	点検結果が何より		
29	点検結果が何より		
30	点検結果が何より		
31	点検結果が何より		
32	点検結果が何より		
33	点検結果が何より		
34	点検結果が何より		
35	点検結果が何より		
36	点検結果が何より		
37	点検結果が何より		
38	点検結果が何より		
39	点検結果が何より		
40	点検結果が何より		
41	点検結果が何より		
42	点検結果が何より		
43	点検結果が何より		
44	点検結果が何より		
45	点検結果が何より		
46	点検結果が何より		
47	点検結果が何より		
48	点検結果が何より		
49	点検結果が何より		
50	点検結果が何より		
51	点検結果が何より		
52	点検結果が何より		
53	点検結果が何より		
54	点検結果が何より		
55	点検結果が何より		
56	点検結果が何より		
57	点検結果が何より		
58	点検結果が何より		
59	点検結果が何より		
60	点検結果が何より		
61	点検結果が何より		
62	点検結果が何より		
63	点検結果が何より		
64	点検結果が何より		
65	点検結果が何より		
66	点検結果が何より		
67	点検結果が何より		
68	点検結果が何より		
69	点検結果が何より		
70	点検結果が何より		
71	点検結果が何より		
72	点検結果が何より		
73	点検結果が何より		
74	点検結果が何より		
75	点検結果が何より		
76	点検結果が何より		
77	点検結果が何より		
78	点検結果が何より		
79	点検結果が何より		
80	点検結果が何より		
81	点検結果が何より		
82	点検結果が何より		
83	点検結果が何より		
84	点検結果が何より		
85	点検結果が何より		
86	点検結果が何より		
87	点検結果が何より		
88	点検結果が何より		
89	点検結果が何より		
90	点検結果が何より		
91	点検結果が何より		
92	点検結果が何より		
93	点検結果が何より		
94	点検結果が何より		
95	点検結果が何より		
96	点検結果が何より		
97	点検結果が何より		
98	点検結果が何より		
99	点検結果が何より		
100	点検結果が何より		



新宿駅周辺防災対策協議会「平成24年度新宿駅西口地域地震防災訓練報告書」(2013)より

新宿駅周辺防災対策協議会「新宿駅周辺防災対策協議会主催セミナー及び講習会年間活動報告」(2013)より



## 5. 地域の人材育成

### ①地域の災害対応リーダーの育成

地域の災害活動の中心となる人材を育成する事を目的に、講習会やセミナー等を開催している。

講習等の例)

応急救護講習会

トリアージ研修会(医療者対象)

建物継続使用性の判断 等



新宿駅周辺防災対策協議会「新宿駅周辺防災対策協議会主催セミナー及び講習会年間活動報告」(2013)より

### ②防災に関する基礎的な知識の普及・啓発

地域の災害リテラシー向上を目的に、セミナー等を開催している。

セミナーの例)

災害対応における企業の法的課題

東京都の被害想定について

防災点検マップの作成 等



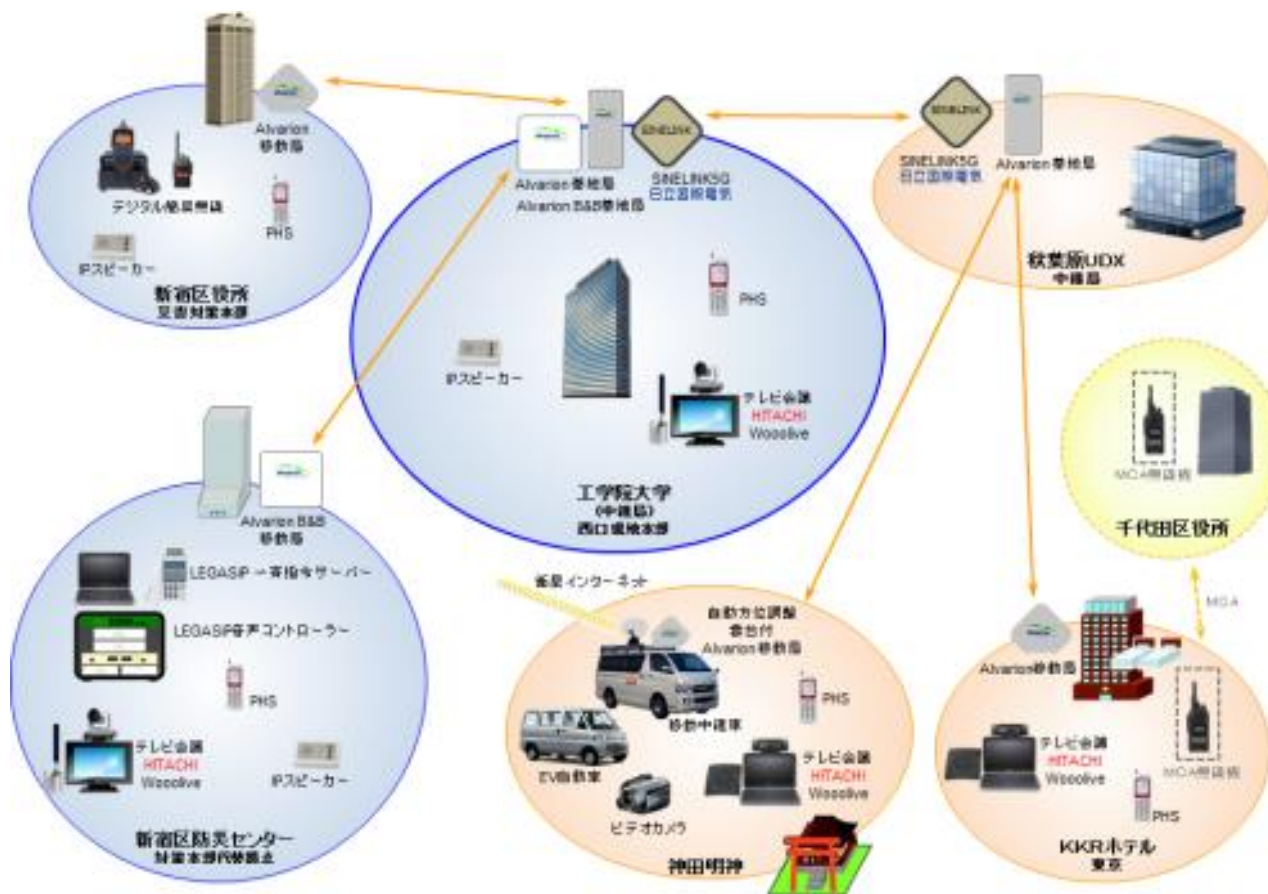
新宿駅周辺防災対策協議会「新宿駅周辺防災対策協議会主催セミナー及び講習会年間活動報告」(2013)より

# 6.1 地域のインフラ整備

## ① 広域連絡体制の構築

長距離無線LANにより都内で広域連絡体制を構築する。

- 1) 新宿区(防災センター)
- 2) 秋葉原地区
- 3) 神田地区
- 4) 東京駅周辺地区 等



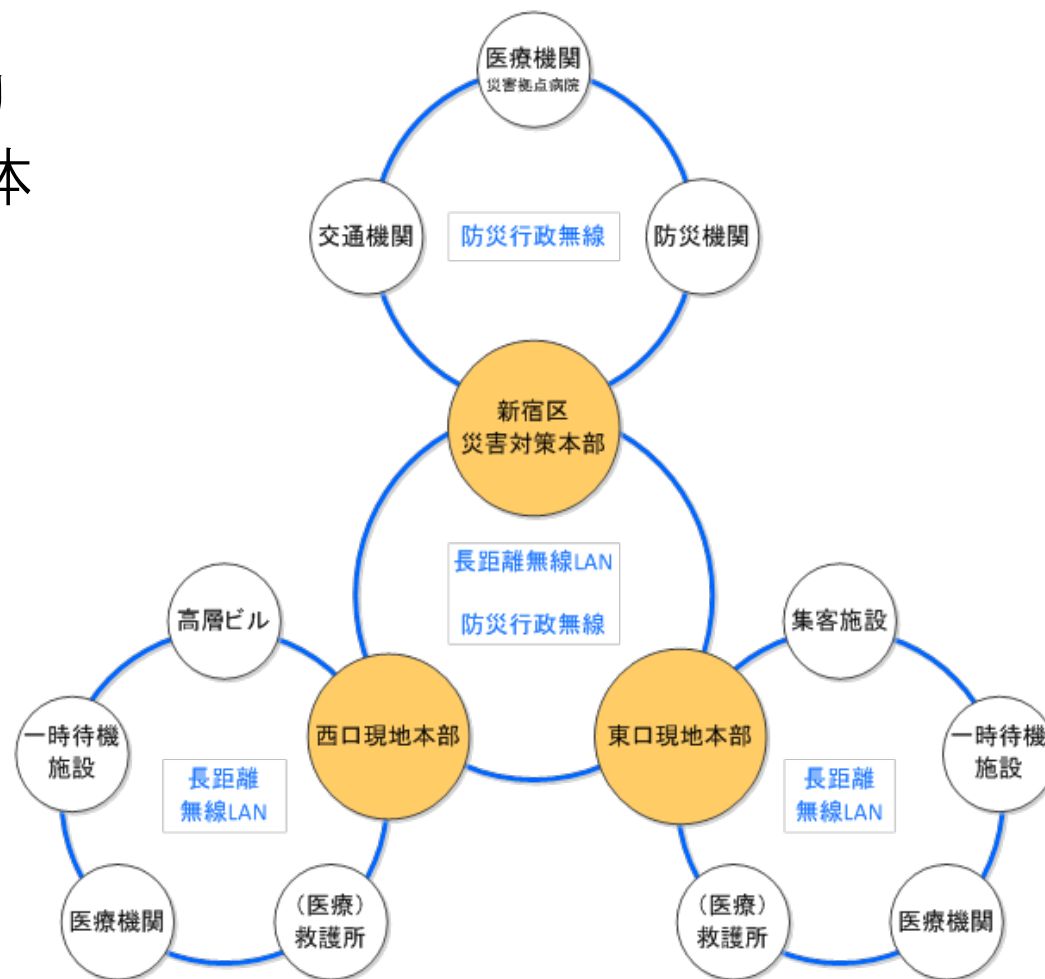
新宿駅周辺防災対策協議会「平成24年度新宿駅西口地域地震防災訓練報告書」(2013)より

## 6.2 地域のインフラ整備

### ②地域内の無線LAN網の構築

地域内で無線LAN網や防災無線により災害に強い情報共有体制や情報提供体制を構築する。

- 1) 新宿区役所との情報共有
- 2) 地域内の企業間での情報共有
- 3) 地域内の滞留者への情報提供 等



工学院大学「新宿駅周辺防災まちづくり事業業務委託報告書」(2013)より

## 7.1 新宿西口の取組みとDCP

---

### Q.1

新宿西口の取組みでは現在DCPという言葉を用いているか？



当初(2009年頃まで?)は用いていましたが、最近はあまり用いられていません。

以前は、「地域防災」が住民主体の取組みのイメージがあるため、「地域防災」と差別化した、地域の事業者の連携による取組みであることを強調するため「DCP」という言葉を用いていたと認識しています。

### Q.2

新宿西口の取組みと個別企業のBCPとの関係は？



先に紹介したとおり、現在の新宿駅西口の取組みは、西口に立地する個別企業の災害対応や事業継続を支援するための取組みが中心となっています。

なお、今年度中に「都市再生安全確保計画(エリア防災計画)」を策定を予定しているなど、ハード・ソフト両面にわたる都市の安全確保策の策定に力点が置かれています。



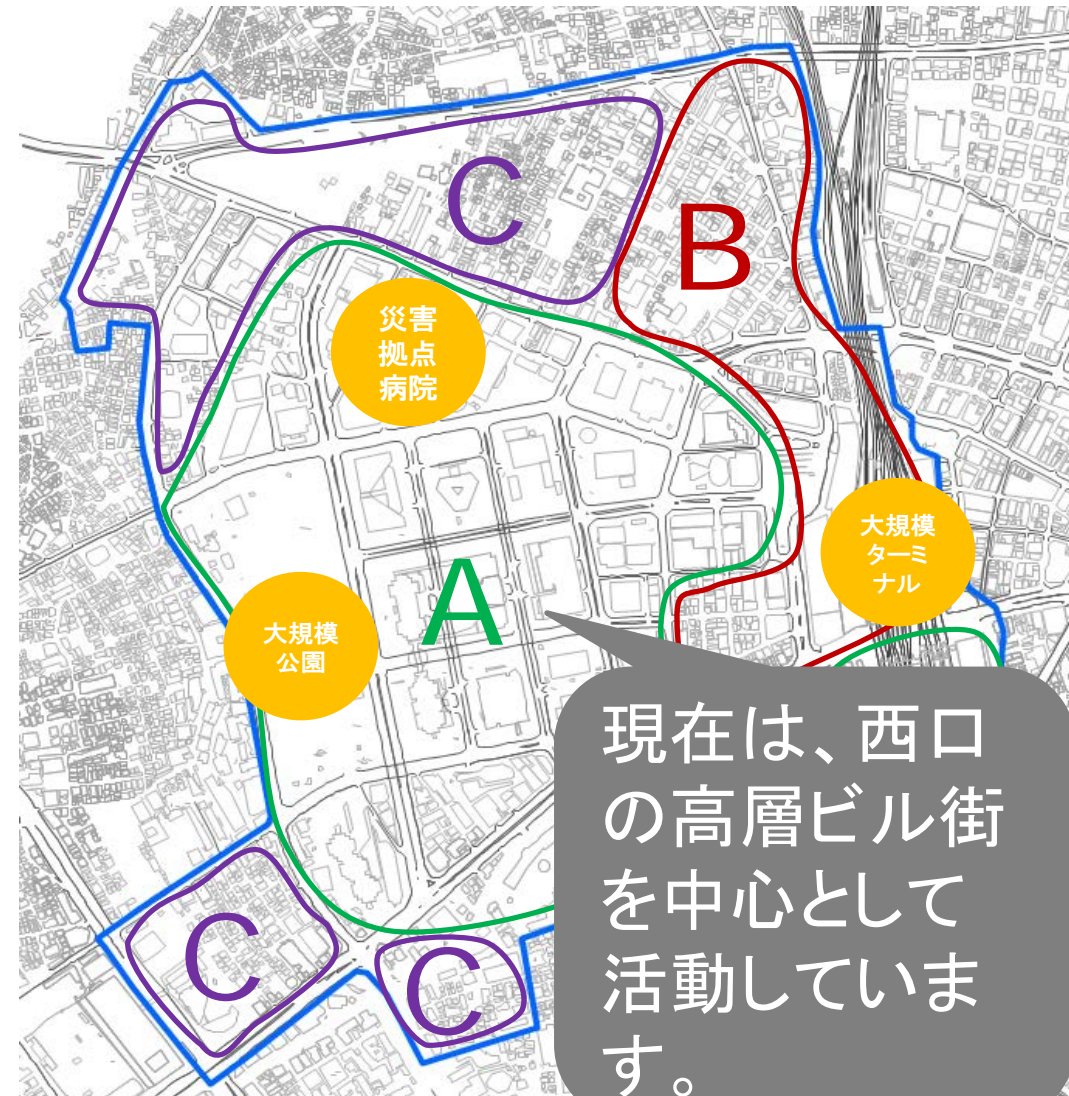
## 7.2 新宿西口の取組みとDCP

### Q.3

新宿西口の取組みにおいて中心となる「地域」はどのあたりか？



取組みの中心地域は、新宿駅西口の高層ビル街となっています。新宿駅西口地域にも、小売店や飲食店が多い地域や、住宅が多い地域等があり、将来的にはそのような地域にも、活動の範囲を広げることを視野に入れています。なお、新宿駅の南口側は「渋谷区」となっており、現在は連携が進んでいませんが、今後は南口地域との連携も課題と考えています。



A:高層ビルに入居したオフィスが多い地域、B:飲食店、小売店が多い地域、C:住宅が多い地域